

## 第 5 章 水象

### 5.1 帯水層の地質・水理の状況

#### 5.1.1 ボーリング調査結果

ボーリング調査結果を図 5.1-1 (P5.1-1~8) に示す。

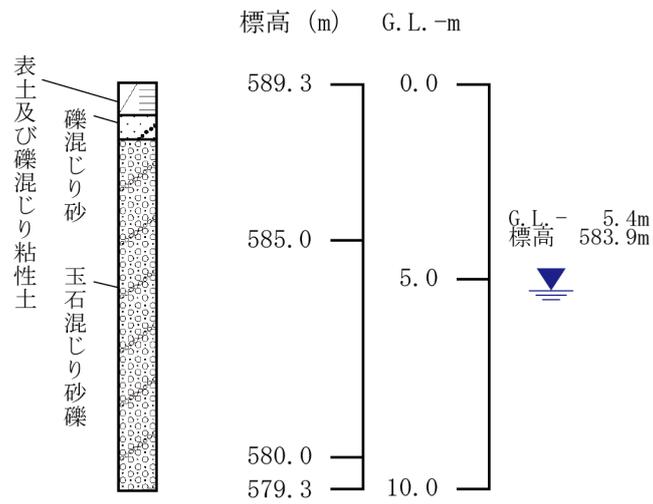


図 5.1-1(1)ボーリング柱状図(No.1(仮称)宮田村大久保つつじが丘崖線付近①)

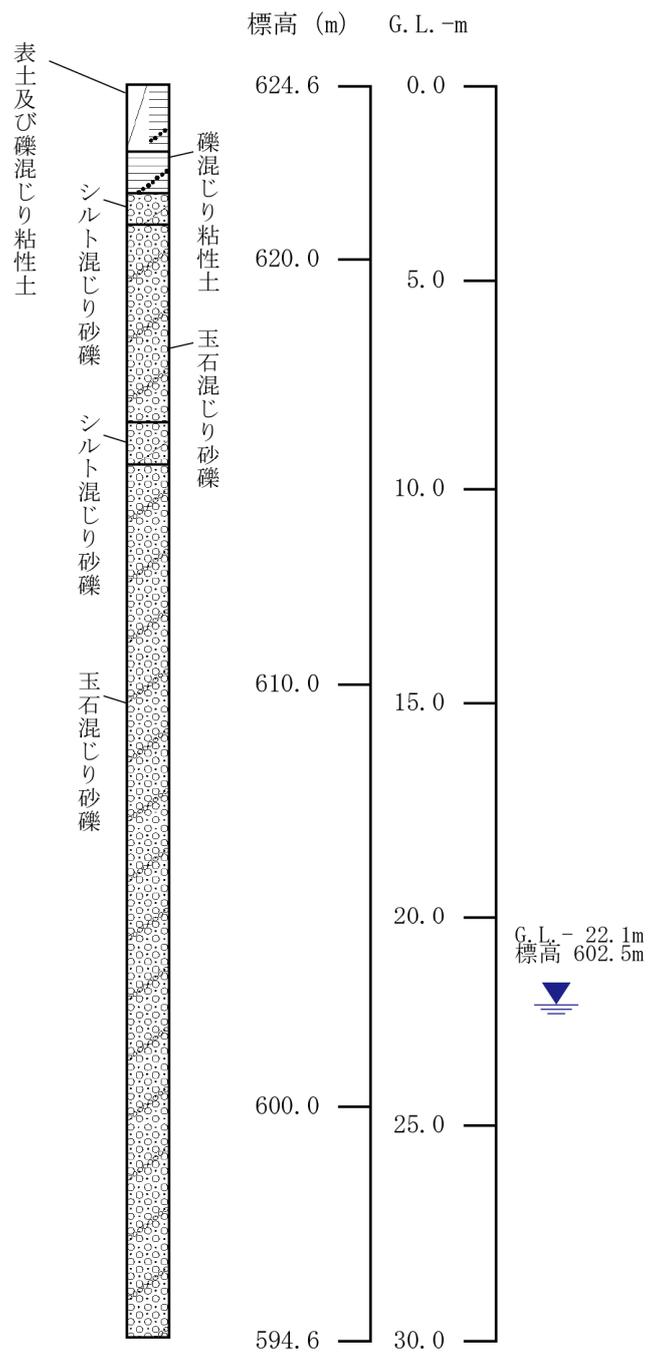


図 5.1-1(2) ボーリング柱状図(No.2(仮称)宮田村大久保つつじが丘崖線付近②)

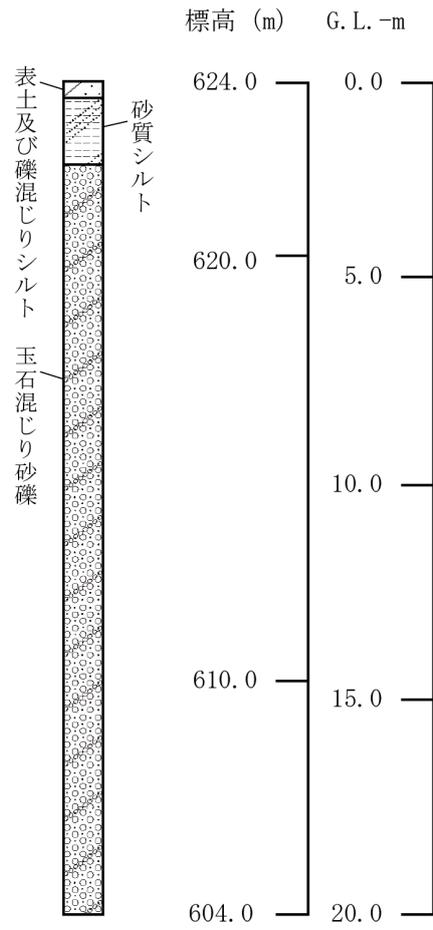


図 5.1-1(3)ボーリング柱状図(No.3(仮称)宮田村大久保つつじが丘崖線付近③)

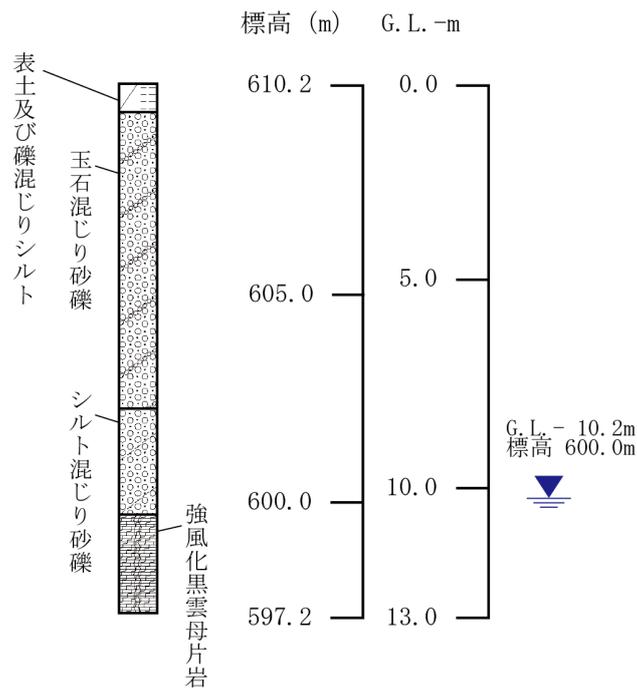


図 5.1-1 (4) ボーリング柱状図 (No.4 (假称) 宮田村中越崖線付近)

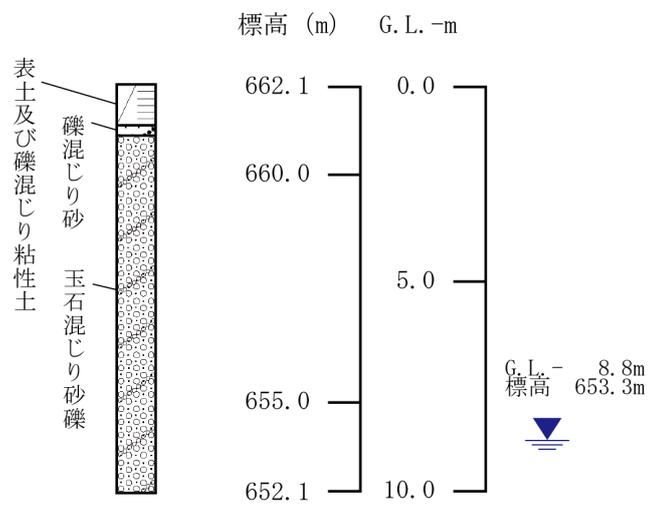


図 5.1-1 (5) ボーリング柱状図 (No.5 大沢川渡河部付近①)

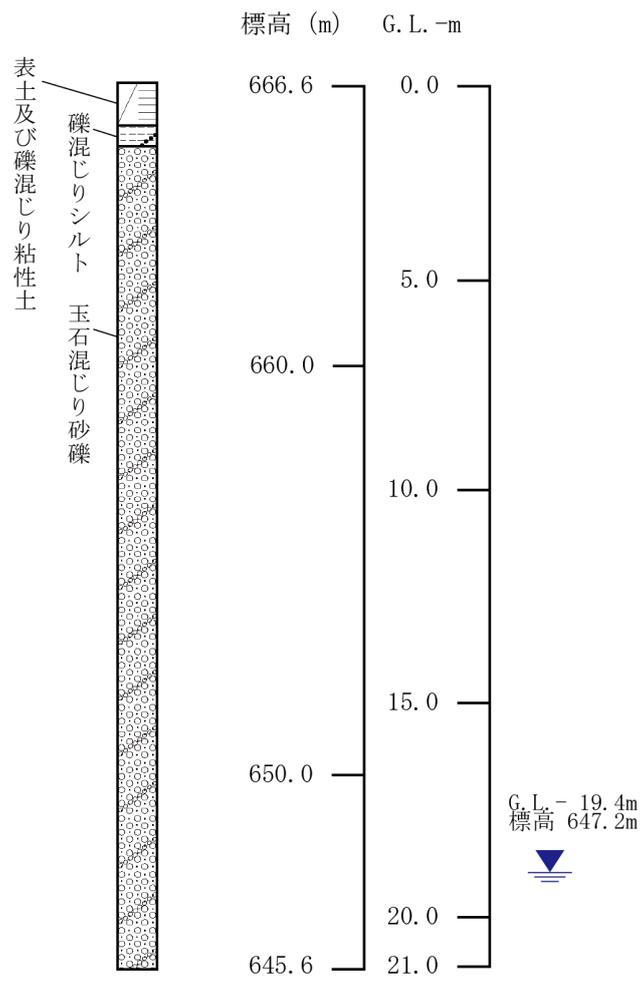


図 5.1-1(6)ボーリング柱状図(No.6 大沢川渡河部付近②)

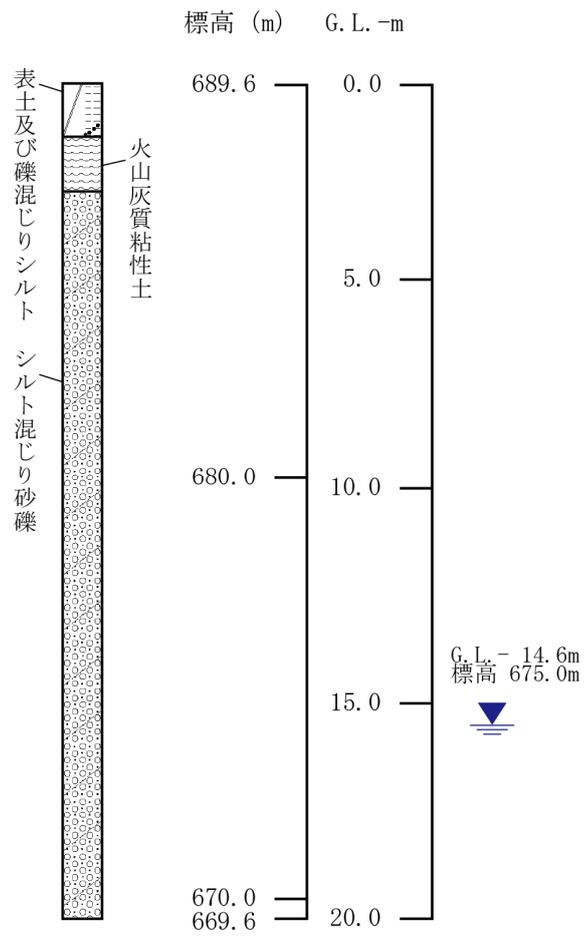


図 5.1-1(7) ボーリング柱状図 (No.7 伊那街道交差点付近①)

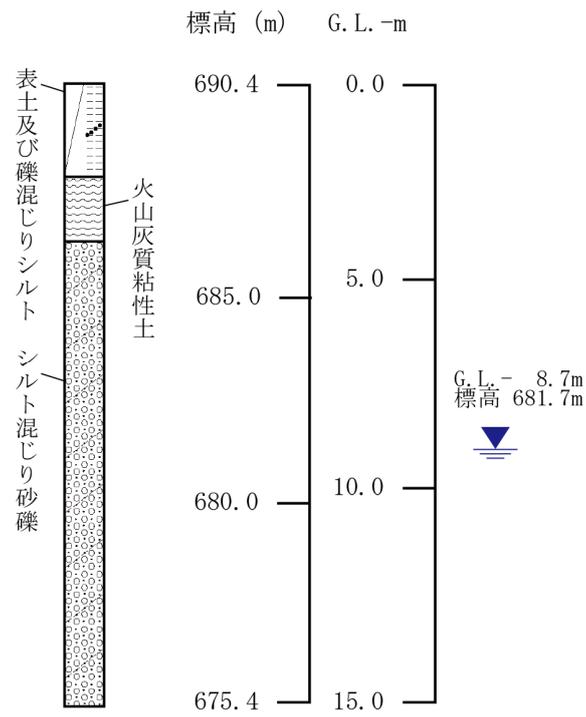


図 5.1-1(8)ボーリング柱状図(No.8 伊那街道交差点付近②)

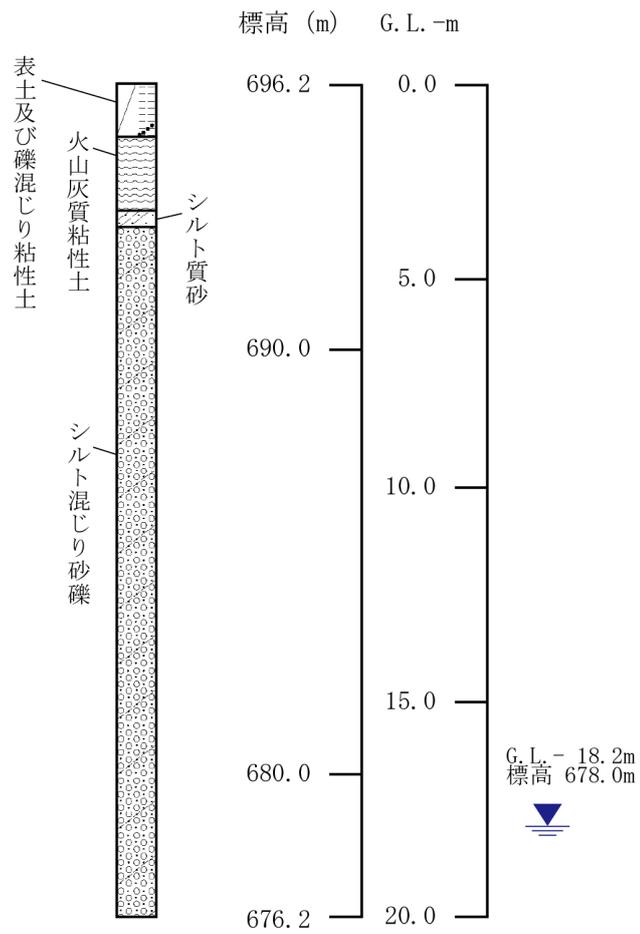
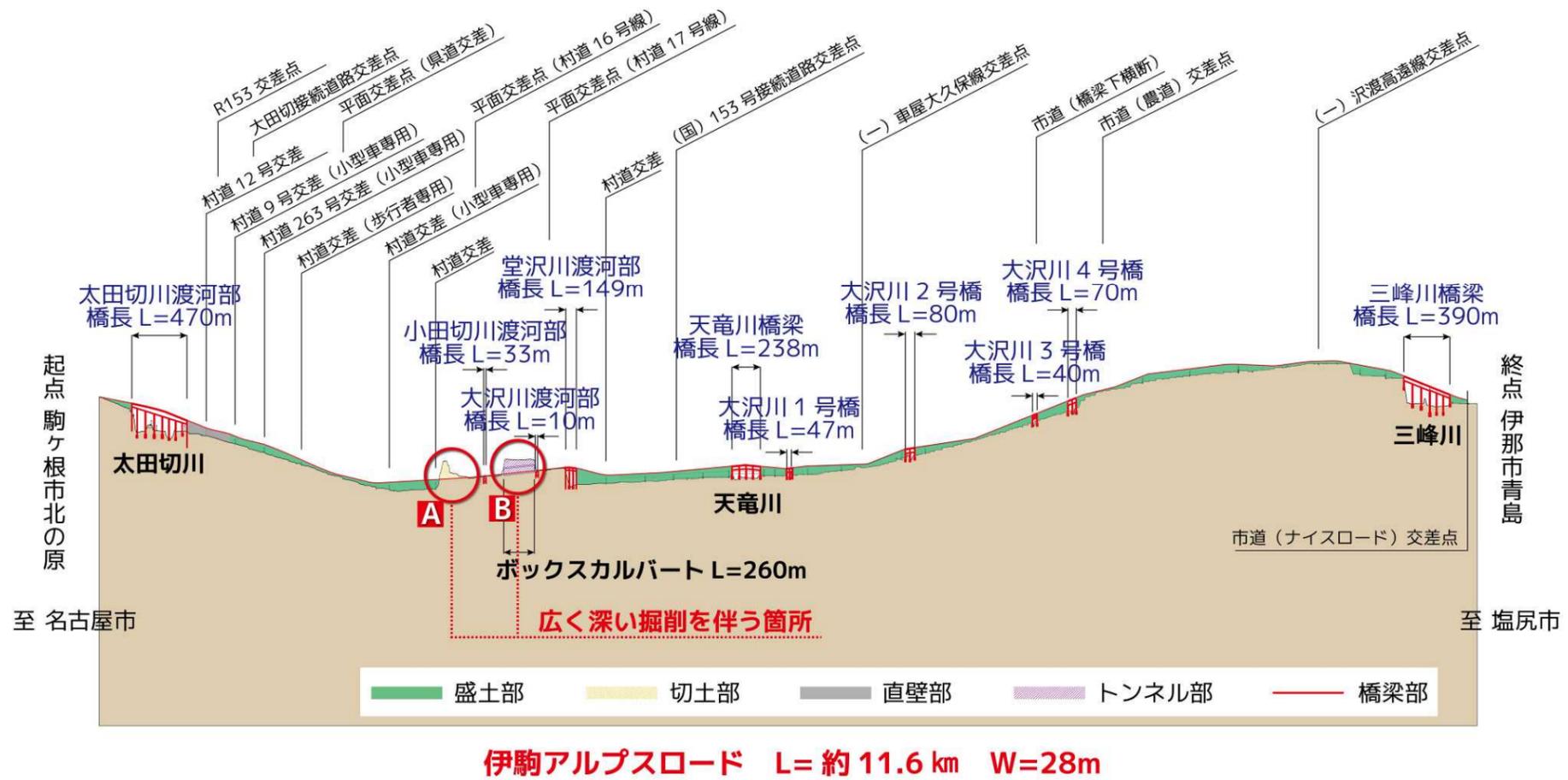


図 5.1-1(9)ボーリング柱状図 (No.9 伊那街道交差点付近③)

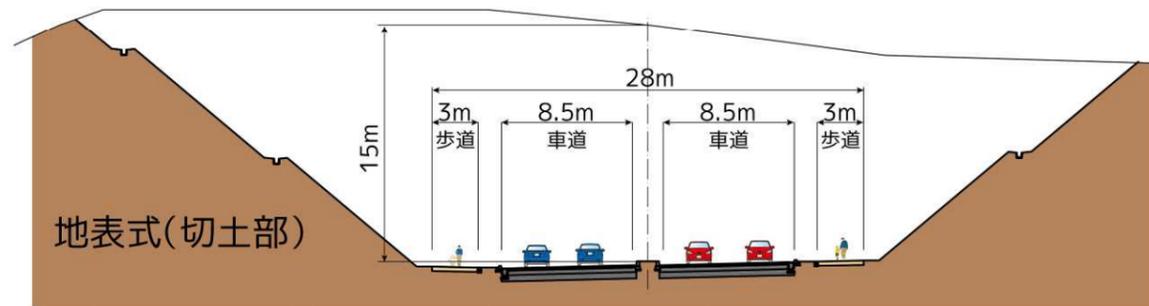
## 5.2 予測地域及び予測地点の状況

### 5.2.1 縦断の状況

計画路線の縦断図及び予測地点の横断図を図 5.2-1 (P5.2-2) に示す。



**A** 宮田村大久保



**B** 宮田村中越

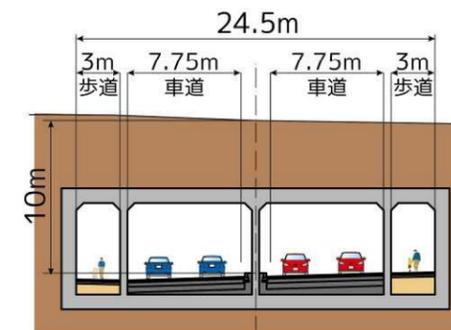


図 5.2-1 縦断面図及び予測地点の横断面図

## 5.3 環境保全措置の検討

### 5.3.1 通水工法の概要

通水工法とは、地下に構造物を構築する際に行う工法である。上流側で地下水を集め（集水）、構造物との交差区間をパイプなどで通過（通水）、下流側で地盤に還元（涵養）することで、地下水流動環境の変化を防ぐことができる。通水工法のイメージを図 5.3-1 に示す。

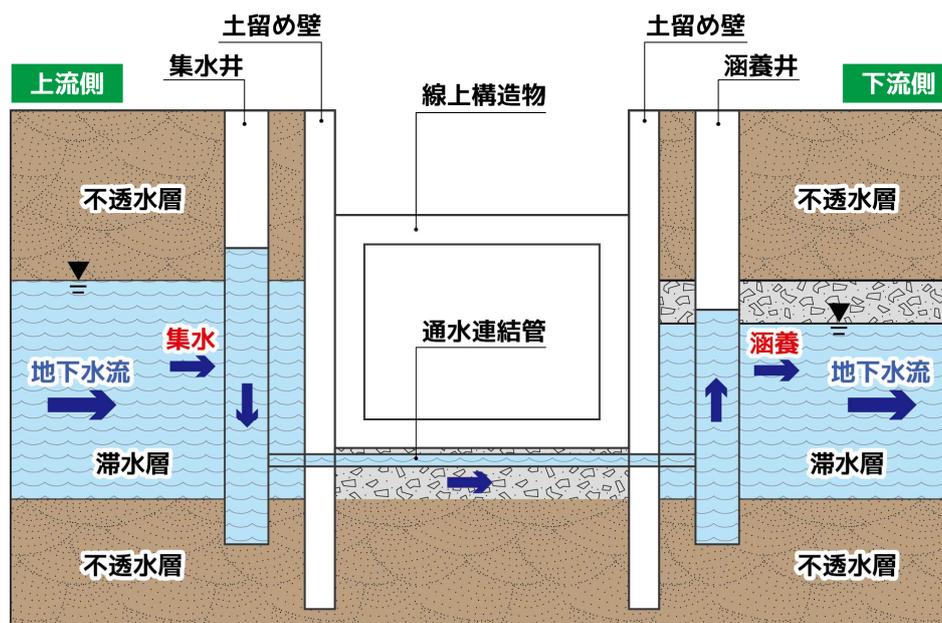


図 5.3-1 通水工法のイメージ